



第11回 みんなで楽しいお正月 1月7日

古くから日本に伝わるお正月遊びを体験してもらおうと、毎回工夫を凝らして今年で11回目。今年にはジャンボ書き初め大会！縦170cm×横160cmの大きな紙5枚に、モップ状の太い筆で「令和」「2年」「ね」「ず」「み」と交代で大書しました。自由書き初めは、学校の宿題や今年の抱負、好きな言葉などを丁寧に書いていました。大会の後は、手作りの七草粥とぜんざいをお腹いっぱいいただきました。



ねずみの「ね」

身長ほどの長く太い筆



お母さんも頑張つて！



低学年はペン習字



七草粥美味しいよ！

1月18日

大人の社会見学！

最新技術を各所で目の当たりにし、驚きあふれる社会見学でした。キリンビール工場では、巨大施設や麦・ホップなど実物を手に取って見て、プロジェクションマッピングによる見学をし、最後に3種類の試飲を楽しみました。セントレアホテルでランチビュッフェを満喫した後、目玉のFLIGHT OF DREAMSに向かいます。大迫力のボーイング実機展示を中心に、航空をテーマにした様々な体験型展示で非日常を味わいました。最後はげんきの郷で、知多の新鮮な野菜・海産物の買い物をしました。



麦芽の試食



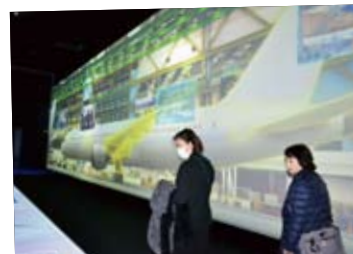
試飲！？



飛行機を見上げながら



コックピット



体験型アトラクションにびっくり！



ボーイング787の真下で



ビンゴで大盛り上がり！

ii-nuts!!ギャラリー

次のロビー展示はひな祭を予定しています。

懐かしのレコード展

2月8日、9日のフォークvillageに合わせ、懐かしいレコード約3000枚をはじめ、当時を偲ばせる小物を9日まで展示しています。プレーヤーやギターを実際に聴くこと、弾くことができ、年齢を問わず楽しめる場所となっています。



越年マラソン

12月31日

稲津町内外から過去最高の203人(男性127人 女性76人)のランナーが銅鑼の音と共に一斉にスタートしました。大晦日の午後11時55分、稲荷神社をスタートし小里八幡神社・萩原八幡神社を回る3.8kmを家族で子どもに合わせて走る親子、入賞を狙って走る人など、走りながら新しい年を迎えました。



【男子の部】

- ①澤井 昂希
- ②土本 佳唯斗
- ③小木曾 太一

【女子の部】

- ①東川 千愛礼
- ②加藤 月華
- ③安藤 心菜

(敬称略)

2月の稲津さん

憧れの個人作家を目指し稲津町に移住

恩田 陽子さん (41歳) 下小里

故郷の秋田県から各地の焼き物産地を訪ね歩き、型にはまらない多様性ある美濃焼に興味を沸き、勉強を深めたく東濃に来ました。子育てが一段落した頃、稲津に移住。「ほどほど田舎でも人も温かくのんびり子育てしながら焼き物が出来て幸せ。コツコツ続けていきたいです。」
「やきものワールド2019では新人アーティスト展に出展しました。」「古代の鋳物のような雰囲気が好きで、何百種類も釉薬のテストを重ね、試行錯誤の結果、自分のオリジナルの色や質感が表現出来るようになりました。また出展した際は手に取って感じて欲しいです。」と話してみえました。



“腸活を始めませんか” 参加者募集！

腸内環境を整えませんか？食物繊維たっぷりメニューをご紹介します。

- ◎日 時：3月13日(金) 9時30分～13時
- ◎場 所：稲津公民館
- ◎内 容：食生活のポイント・調理実習
- ◎定 員：10名(先着順)
- ◎受講料：無料
- ◎持ち物：エプロン・三角巾
- ◎申込み：2月28日(金)までに健康づくり課(☎68-9786)へお申し込みください。



- ◎主 催：瑞浪市食生活改善推進協議会稲津支部
- ◎共 催：稲津公民館

人 口	12月1日現在		1月1日現在		増減
	男	2,127 人	2,123 人	人	
	女	2,199 人	2,196 人	人	
	計	4,326 人	4,319 人	人	
世帯数		1,697 世帯	1,695 世帯	世帯	増減
					－2

	不燃ごみ		ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
	2月19日	3月19日	
小 里	2月19日	3月19日	2月28日 3月31日
萩 原	2月18日	2月27日	2月27日 3月30日
	3月18日	3月30日	

春一番は長い冬が終わり春の到来を告げて初めて吹く南風であることから「もうすぐ春です。ねえ恋をしてみませんか」キャンディーズのヒット曲を思い、心ウキウキするものを感じますが、その気分とは裏腹に古くから深刻な意味合いがありました。立春から春分の日の間にその年初めて吹く南風は通常日本海で低気圧が発達することによって太平洋側から日本海側に向けて生じる強い暖かい風であるため海難事故、山岳遭難、フェーン現象による雪崩、融雪洪水などをもたらすことが多く、日本海、玄界灘などの沿岸の船乗り漁民たちに古くから使われていた生活用語でした。江戸時代末期、長崎県の漁師が出漁中海難事故に遭い多くの犠牲者を出して以降この強い南風を広く春一番と呼ぶようになり、気象庁が昭和四十年代になって基準を決めてから気象用語として使われるようになりました。こうした春一番の本来の意味を理解した上で春間近のこの時季、ヒット曲にあるいろいろの春を想いながら「ちよつと気取ってみませんか」の気分になっては如何でしょうか。

(N)

館長コラム

春一番

2

3